

EGOTERIC

X-30

取扱説明書

TEAC

目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

ティアック技術の集大成により完成された「エソテリック」製品は、一台一台が数多くの厳しい品質管理を受けて製造されており、最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

安全にお使いいただくために	4
ご使用前に	7
使用上の注意／防振装置について／設置について	
接続	8
リモコンの使用法	9
各部の名称	10
再生	12
選曲するには	14
オートスペース	15
一曲だけ再生するには	16
リピート再生	16
プログラム再生	18
デリートプログラム再生	20
ディスプレイの表示	21
タイマー再生	21
コンパクトディスクについて	22
おや？故障かな？	23
X-30の特長	24
仕様	24
保証とアフターサービス	25

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



一般的な注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け



一般的な強制



以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。



万一、異常が起きたら

煙が出たり、変なおいや音がするときは。

機器の内部に異物や水などが入ったときは。

この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。

	<p>電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。</p>
	<p>電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>通風孔に異物を入れない。 内部に金属類や燃えやすいものなど異物が入ると、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>通風孔をふさがない。 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>この機器のカバーは絶対に外さない。 カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

 注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。
	電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 湿気やほこりの多い場所に置かない。 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。 火災、感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	カセットテープやディスクの挿入口に手を入れない。 特にお子様にはご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電の原因となることがあります。

ご使用の前に

使用上の注意

- 本機は音質を最優先に設計されているため、フローティング機構を備えておりません。設置の際は、しっかりと固定されたラックや台の上に設置し、外部の振動には十分ご注意ください。
- 本機の上には物を置かないでください。上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。内部に熱がこもると、火災や故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。また、本機はテレビやテレビアンテナのケーブルから離して設置してください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズボタン(▲)を押してディスクトレイを開けないでください。強い力でディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 組み合わせて使用するステレオシステムのそばの安定した場所に設置してください。
- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

防振装置について

レーザー・ピックアップ部は、輸送時の振動から保護するため、防振装置で固定してあります。本機をご使用になる前は、必ず防振装置を解除の状態にしてください。

解除のしかた

本機の電源を入れる前に、図のように前面を持ち上げながら、付属の金具（ロックプレート）を差し込み、「FREE」側へ約45度回転させてください。

引越しなどで輸送するときは

再度、防振装置で固定してください。ディスクが取り出していることを確かめてから、ディスクトレイを閉めます。電源を切り、上記と同じ要領で「LOCK」側へ約45度回転させてください。

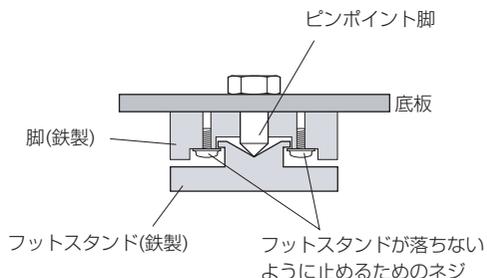


防振装置は軽く少し回すだけで解除、または固定できます。力を入れて回すと、防振装置の破損につながりますのでご注意ください。

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

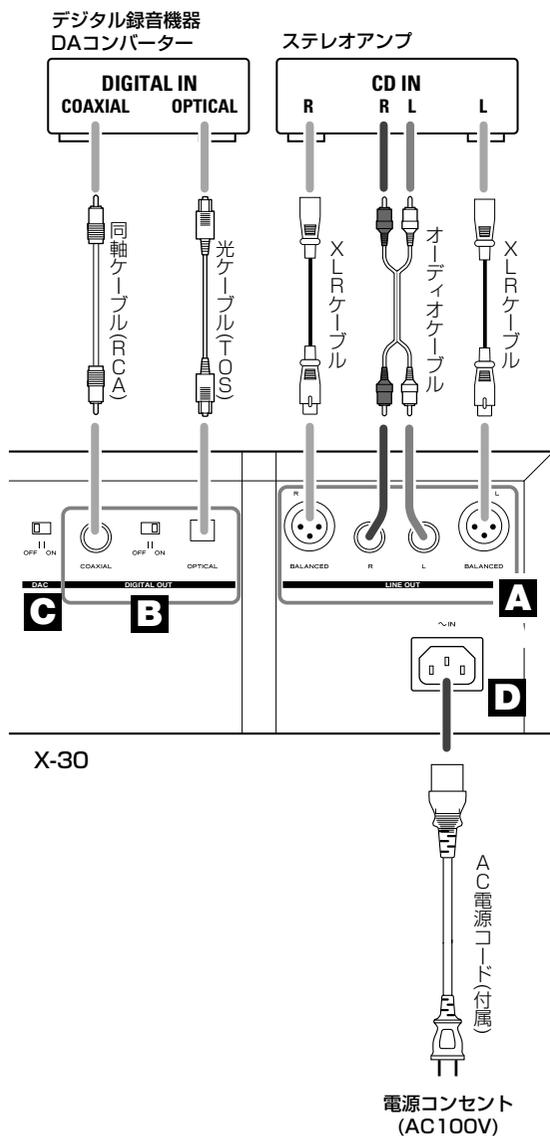
フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



接 続

⚠ 接続時の注意

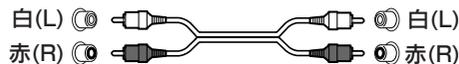
全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



A アナログ音声出力端子 [LINE OUT]

アナログの音声を出力します。オーディオケーブルまたはXLRケーブルを使って、アンプの音声入力端子と接続してください。

音声入出力端子はLが左チャンネル、Rが右チャンネルです。

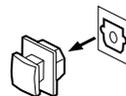


- オーディオケーブルは白のピンプラグを白(L)端子に、赤のピンプラグを赤(R)端子に接続してください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。
- XLRコネクタは2番HOTです。対応したケーブルをお使いください。

B デジタル音声出力端子 [DIGITAL OUT]

光ケーブルまたは同軸ケーブルを使って、デジタル入力端子付きのアンプやデジタル録音機器(MDデッキ、CDレコーダーなど)、DAコンバーターのデジタル入力端子と接続してください。

- デジタル出力端子を使用するときは、デジタル出力スイッチをONにしてください。
- OPTICAL端子に光ケーブルを接続する際は、端子のキャップをはずしてください。使用しないときはキャップをつけておいてください。



C DACスイッチ

本機をトランスポートとして用い、アナログ出力を使用しないときは、このスイッチをOFFにしてください。

- ON/OFFの切り換えは、必ず電源を切った状態で行ってください。

リモコンの使用法

D 電源コード

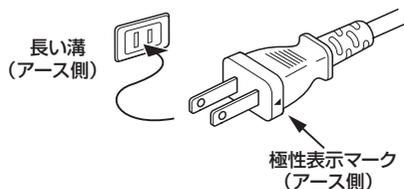
付属のAC電源コードを使って、家庭用電源コンセントに接続してください。

⚠ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、極性表示マークの付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみる、などの方法で音質の良い方を選択してください。

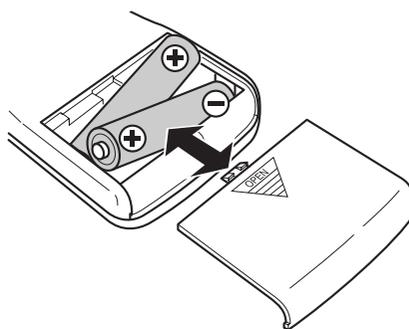


使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れてください。



電池の交換時期は…

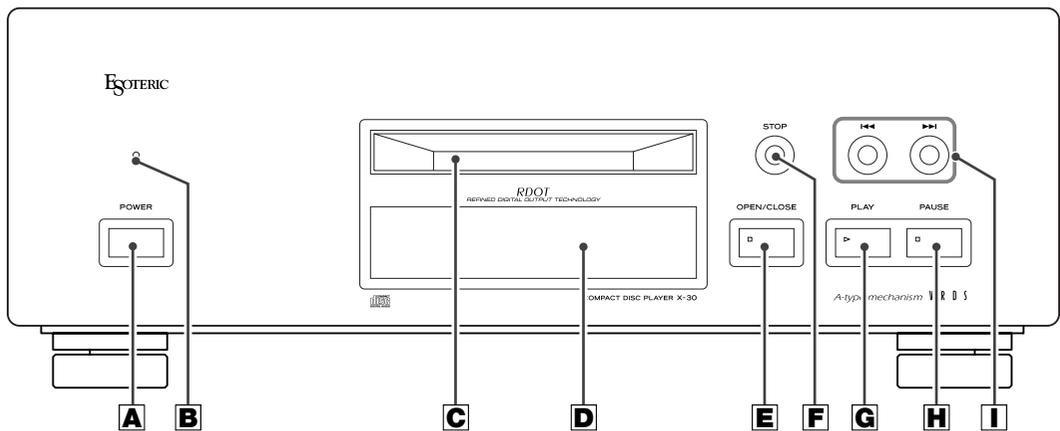
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

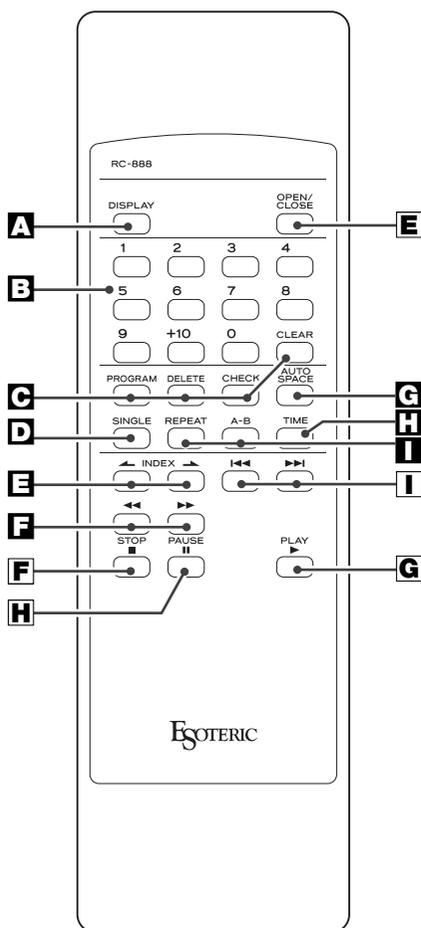
- ⚠ 乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

各部の名称

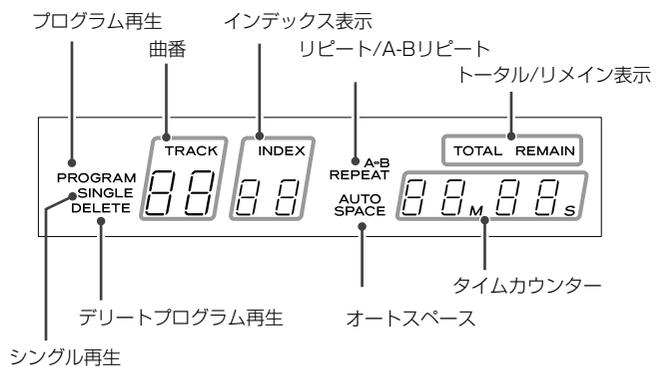
本体



リモコン



ディスプレイ



A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフに使用します。

- 本機を移動するときは、ディスクを取り出し、電源をオフにしてください。

B 電源インジケーター

電源がオンのときに点灯します。

C ディスクトレイ

D ディスプレー

ディスクの総曲数や再生時間などが表示されます。

E 開閉ボタン [OPEN/CLOSE]

ディスクトレイを開閉します。

F 停止ボタン [STOP]

再生を停止します。

G 再生ボタン [PLAY]

再生します。

H 一時停止ボタン [PAUSE]

再生を一時停止します。

I スキップボタン [I◀◀/▶▶I]

前または後ろの曲にスキップします。

A ディスプレーボタン [DISPLAY]

ディスプレーを消灯します。

B 数字キー

選曲やプログラム再生に使用します。

C プログラム、デリート、チェック、クリア
[PROGRAM, DELETE, CHECK, CLEAR]

プログラム再生およびデリートプログラム再生に使用します。

D シングルボタン [SINGLE]

シングル再生モードにすると、1曲だけ再生して停止します。

E インデックスボタン [INDEX]

インデックス・サーチに使用します。

F サーチボタン [◀◀/▶▶]

再生中にサーチボタンを押したまましていると、早送り/早戻しができます。

G オートスペースボタン [AUTO SPACE]

各曲の間を一定(約4秒)にして再生します。

H タイムボタン [TIME]

CDの再生中に押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。

I リピート、A-Bボタン [REPEAT, A-B]

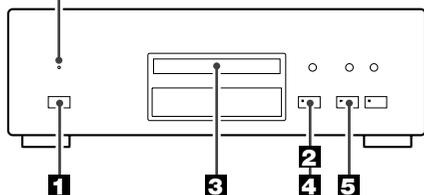
リピート再生に使用します。

注意：

X-25に付属のリモコンで本機を操作することもできます。X-30用のリモコンに存在しないボタンを押すとディスプレーが反応しますが、それらの機能はお使いになれませんのでご注意ください。

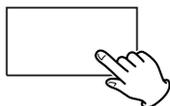
再生

電源インジケータ



1 電源を入れる。

POWER

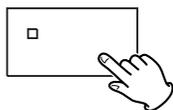


電源を入れるとインジケータが点灯します。

2 OPEN/CLOSEボタンを押す。

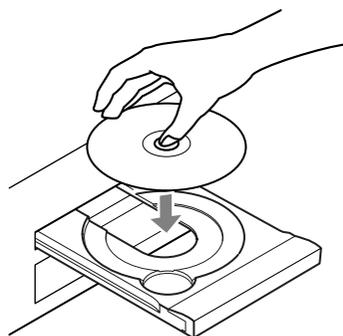
インジケータが点滅し、ディスクトレイが手前に出ます。

OPEN/CLOSE



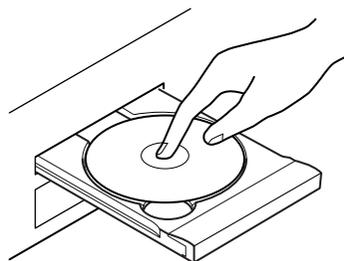
ディスプレイに"OPEN"が表示されます。

3 ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせる。



ディスクは、レーベル面を上にしてトレイの中央にのせてください。

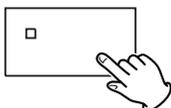
- 本機のトレイは、振動対策とディスク保護のために特殊塗装を施しているため、ディスクが滑りにくくできています。ディスクがずれた状態でトレイを閉めると、ディスクが中で引っかかってトレイが開かなくなることがあります。ディスクをのせた後、指でディスクの中心を軽く動かして、水平になっていることをご確認ください。



4 OPEN/CLOSEボタンを押す。

インジケーターが点滅し、トレーが閉まります。

OPEN/CLOSE

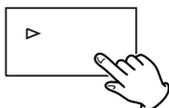


⚠ トレーが閉まる時は手をはさまないようにご注意ください。

ディスプレイには、「CLOS」のあとにディスクの総曲数と総再生時間が表示されます。

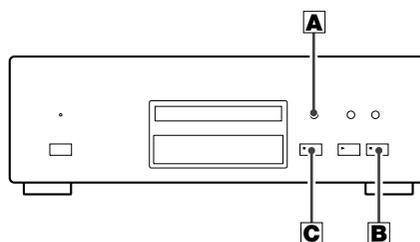
5 PLAYボタン(▶)を押す。

PLAY



インジケーターが点灯し、1曲目から再生が始まります。再生が終わると停止します。

- ディスクをのせたあと、OPEN/CLOSEボタンを押さずにPLAYボタンまたは数字キーを押すと、自動的にトレーが閉じて再生を始めます。PAUSEボタン(⏸)を押した場合は、最初の曲の頭で一時停止状態になります。



A 再生をやめるには

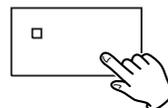
STOPボタン(■)を押すと再生が停止します。

STOP



B 再生を一時停止するには

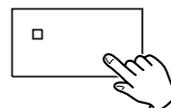
PAUSE



PAUSEボタン(⏸)を押すと再生が一時停止します。PAUSEボタン(⏸)またはPLAYボタン(▶)を押すと再び再生が始まります。

C ディスクを交換するには

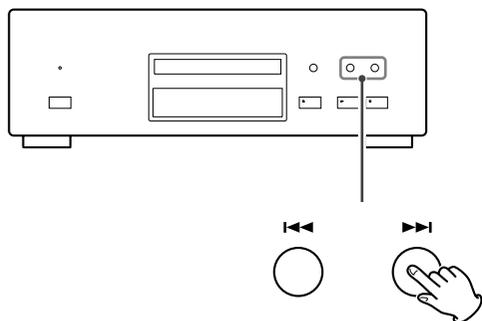
OPEN/CLOSE



停止中または再生中にディスクのOPEN/CLOSEボタンを押すと、再生が停止してディスクトレーが開きます。ディスクを交換したら、もう一度OPEN/CLOSEボタンを押してトレーを閉じてください。

選曲するには

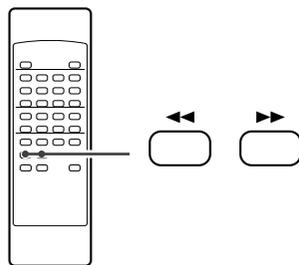
好きな曲から再生するには(スキップ)



再生中にスキップボタン(◀◀/▶▶)を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて操作してください。

- 停止中または一時停止中に操作すると、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。PLAYボタンを押すと再生が始まります。
- 再生中は、◀◀を一回押すと再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。デリートプログラム再生中は、プログラムされていない曲にスキップします。

聴きたい部分を探すには(サーチ)

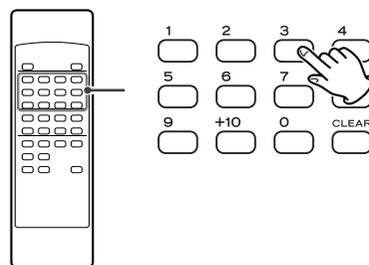


再生中にリモコンのサーチボタン(◀◀/▶▶)を押したまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指をはなしてください。

- ディスクまたはプログラムの最後の曲の終わりまで早送りすると、一時停止します。最初の曲の頭まで早戻しすると、再生が始まります。

リモコンで再生したい曲を選ぶには

再生中または停止中にリモコンの数字キーで曲番を押すと、その曲から再生が始まります。



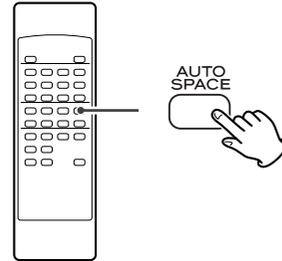
曲番7:

曲番23: ⇒ ⇒

オートスペース

曲の間を4秒あけて再生するには

オートスペース機能を使うと、各曲の間を一定(約4秒)にして再生することができます。テープなどに録音して頭出ししたいときに便利です。

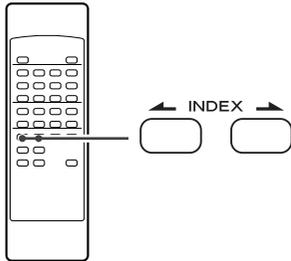


リモコンのAUTO SPACEボタンを押すたびにオンとオフが切り換わります。

オートスペースがオンのときは、ディスプレイに "AUTO SPACE" が点灯します。曲と曲の間では "AUTO SPACE" が点滅します。

インデックス・サーチ

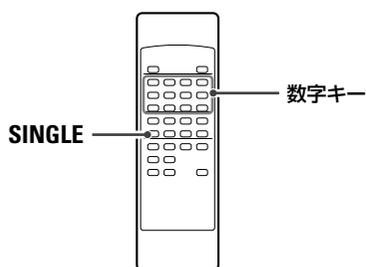
インデックスとは、一曲の中をいくつかに分けて、索引用の番号を付けたもののことです。インデックスが記録されているディスクには、(IN:DEX) マークが付いています。



インデックスが記録されているディスクで、数字キーまたはスキップボタン(◀◀/▶▶)で再生したい曲を再生してから、INDEXボタンで再生したいインデックスを選ぶと、そこから再生を続けます。

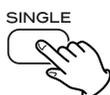
- 停止中にスキップボタン(◀◀/▶▶)で曲番を選んだ場合は、INDEXボタンでインデックスを選んだあとにPLAYボタン(▶)を押すと再生を始めます。
- その曲に存在しないインデックス番号を押した場合は、その曲の最後のインデックスから再生します。

一曲だけ再生するには



シングル再生モードにすると、1曲再生後に停止しますので、どれか1曲だけ再生したいときに便利です。

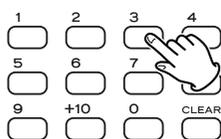
1 停止中にリモコンのSINGLEボタンを押す。



"SINGLE"が点灯します。

- 解除するにはもう一度SINGLEボタンを押してください。

2 曲番を選ぶ。



数字キーで曲番を選ぶと、その曲の再生が始まります。スキップボタン(◀◀/▶▶)で選んだ場合は、PLAYボタン(▶)を押すと再生が始まります。

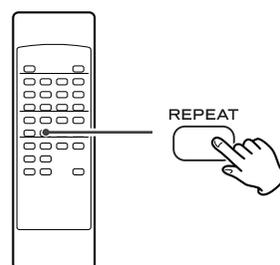
その曲の再生が終わると自動的に停止します。

- 再生中にSINGLEボタンを押した場合は、その曲の再生が終わると停止します。
- シングル再生中にスキップボタンでスキップすると、他の曲を選択できます。
- シングル再生中に曲の最後まで早送りすると、その曲の終わりで一時停止状態になります。

リピート再生

全曲リピート

再生中または停止中にリモコンのREPEATボタンを押すたびにリピートのオンとオフが切り換わります。オンのときは"REPEAT"が点灯します。



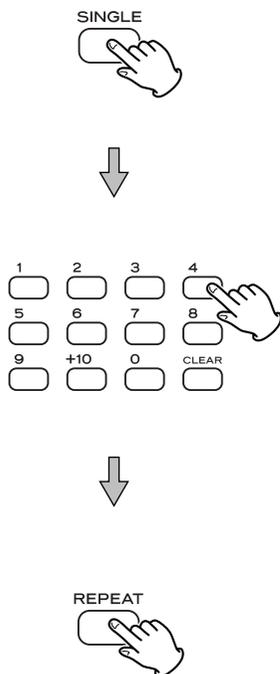
リピートをオンにして再生すると、ディスクの全曲を繰り返し再生します。

- プログラム再生中はプログラムされた曲が、デリートプログラム再生中はプログラムされなかった曲が繰り返し再生されます。

一曲リピート

シングル再生とリピート再生を同時に使うと、1曲だけが繰り返し再生されます。シングル再生について詳しくは16ページをご覧ください。

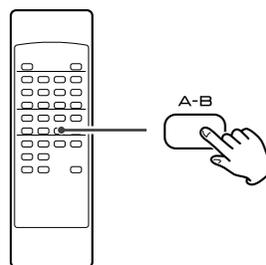
- 1曲だけプログラムしてリピート再生した場合も、1曲だけが繰り返し再生されます。



A-Bリピート

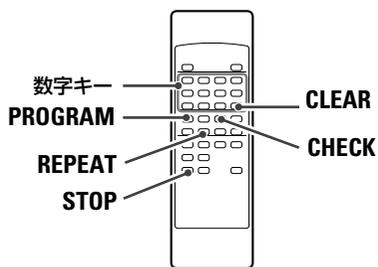
ある特定の部分を繰り返し再生することができます。

CDを再生し、繰り返しを始めた部分(A点)になったらリモコンのA-Bボタンを押します。
"REPEAT"が点灯し、"A-B"が点滅します。



終了したい部分(B点)でもう一度A-Bボタンを押すと、指定した部分(A-B)が繰り返し再生されます。

- B点を指定したあとにもう一度A-Bボタンを押すと、A-Bリピートは解除されて通常の再生になります。
- A点を指定したあと、B点までスキップボタンまたはサーチボタンでスキップまたは早送りすることができます。
- プログラム再生中およびシングル再生中は、曲をまたいで設定することはできません。



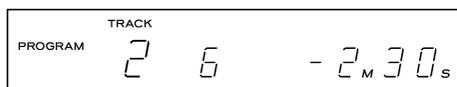
プログラムした内容を確認するには



停止中または再生中にCHECKボタンを繰り返し押すと、曲番とプログラム番号、総再生時間が順番に表示されます。

- 総再生時間が100分を越えた場合は、「分」表示の十の位に、-(100分台)、P(110分台)、A(120分台)、b(130分台)、d(140分台)、無灯(150分台)を表示します。

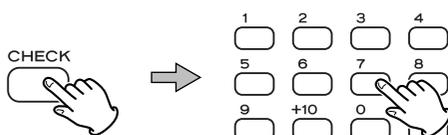
例：総再生時間が102分30秒の場合



プログラムに曲を追加するには

再生中または停止中に数字キーで曲番を押すと、プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラムの途中で曲を追加したい場合は、CHECKボタンをくり返し押して、追加したい場所のひとつ前のプログラム番号を表示させてから、数字キーで曲番を押してください。



プログラムした曲を削除するには



再生中または停止中にリモコンのCLEARボタンを押すと、最後にプログラムした曲だけが削除されます。

プログラムの途中の曲を削除したい場合は、CHECKボタンをくり返し押して、削除したいプログラム番号を表示させてから、CLEARボタンを押してください。プログラムからその曲が削除され、次にプログラムされていた曲が繰り返り表示されます。

プログラムモードの解除



PROGRAMボタン、DELETEボタン、またはSINGLEボタンを押すと、プログラム再生モードを解除します。

開閉ボタン(▲)または電源ボタンを押すと、プログラム再生モードを解除します。

全てのプログラム内容の消去



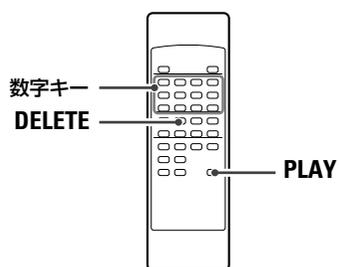
停止中にSTOPボタンを押すと、プログラム再生モードは解除されませんがプログラム内容は消去されます。

プログラムした曲をリピート再生するには



プログラムしたあと、REPEATボタンを押してリピートをオンにすると、プログラムした曲が繰り返り再生されます。

デリートプログラム再生



ディスクの中の「再生したくない曲」を指定すると、それ以外の曲だけを再生することができます。

1 再生中または停止中にDELETEDボタンを押す。

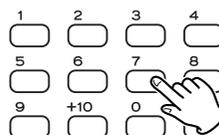


ディスクの総再生時間が表示され、「DELETED」が点滅します。

2 数字キーで削除したい曲番を選ぶ。

複数の曲を削除したいときは、数字キーをくり返し押してください。

- 再生中の曲は削除できません。



選んだ曲番 プログラム番号 プログラムされていない曲の総再生時間

3 PLAYボタン(▶)を押す。

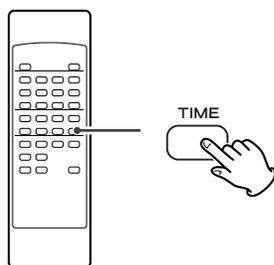


削除されなかった曲だけを、曲番の若い順に再生して停止します。

停止したあともプログラム内容はそのまま残っていますので、PLAYボタンを押すと再びデリートプログラム再生を始めます。

- デリートプログラムの内容は、19ページの手順で変更することができます。
- CHECKボタンを押すと、削除した曲を曲番の若い順に並び替えて表示します。
- 削除しなかった曲のなかに曲番が21以上の曲がある場合は、総再生時間は表示されません。

ディスプレイの表示



リモコンのTIMEボタンを押すと表示が変わります。

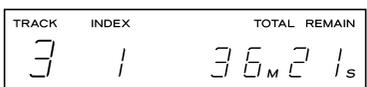
再生中の曲番と再生中の曲の経過時間



再生中の曲番と再生中の曲の残り再生時間

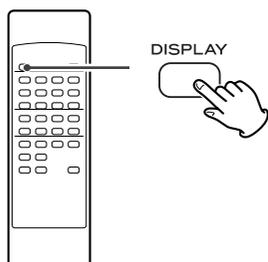


再生中の曲番と再生中のディスクの残り再生時間



ディスプレイの表示を消すには

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、電源インジケータ以外の全ての表示を消すことができます。もう一度押すと元に戻ります。



- 消灯中にPLAYボタンなどを操作した場合は、約4秒間だけディスプレイが点灯します。

タイマー再生

本機は、ディスクが入った状態で電源を入れると自動的に再生が始まるように設計されています。

外部のタイマーと本機を連動させれば、設定した時刻にCDの再生を始めることができます。

1. 電源コードを下図のように接続する。

アンプとの接続は8ページをご覧ください。

2. タイマーをONにして、各機器の電源スイッチを入れる。

3. 本機にディスクをセットする。

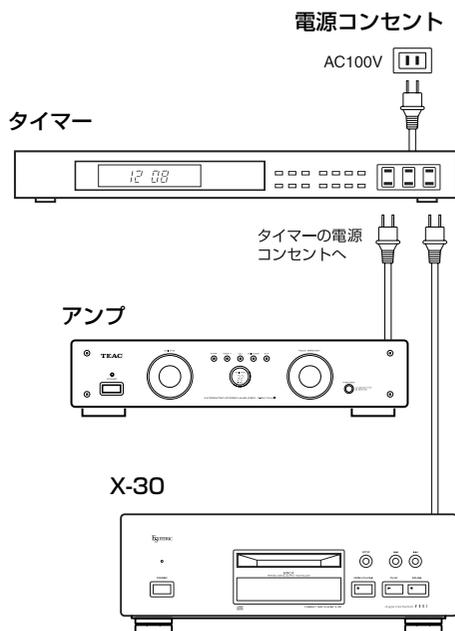
4. アンプの入力をCDに切り換えて、音量を調節する。

5. タイマーを希望の時刻に設定する。

各機器の電源が切れます。

指定した時刻になると各機器に電源が入り、CDの再生が始まります。

- タイマー再生しないときは、ディスクを取りだしておいてください。



コンパクトディスクについて

使用上の注意

本機では、以下のディスクが再生できます。

- ・  マークのあるCD(12cm/8cm)
- ・ 正しい方法でファイナライズされたCD-R
(ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。)
- コピーコントロールCDなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。
- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの録音/再生は片面だけです。)
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

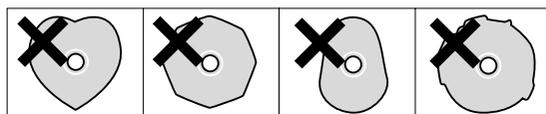


- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。

- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音/再生ができなくなる場合があります。
- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- レーベル面に印字するタイプのディスク(プリンタブル)は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。

電源が入らない

- ➔ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない。

- ➔ アンプとの接続を確認してください。
- ➔ アンプの操作を確認してください。
- ➔ DACスイッチをONにしてください。(8ページ)

リモコンで操作できない。

- ➔ 本体の電源をオンにしてください。
- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

ディスクを入れても再生できない。

- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

電源を入れると再生が始まってしまう。

- ➔ 本機は、ディスクが入った状態で電源を入れると自動的に再生が始まるように設計されています。タイマー再生のとき以外は、ディスクを取り出してから電源を切ってください。

一曲しか再生できない。

- ➔ SINGLEボタンを押してシングル再生モードを解除してください。

プログラム再生できない。

- ➔ ディスクトレイを開閉すると、プログラムは消去されます。誤ってプログラムを消去してしまった場合は、もう一度プログラムし直してください。

音飛びがする。

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に動作するようになります。

X-30の特長

新開発DAコンバーター RDOT

一般的DAコンバーターは、デジタルデータの階段状波形をアナログフィルターに通して波形をなめらかにしたり、音楽データとは無相関なデータでオーバーサンプリングをしてデジタルフィルターを通します。

X-30に新たに採用されたRDOTは、フルエンシー理論に基づいて直接に補完データを作り出す方式で、音楽信号を崩すことなくなめらかな波形で繋ぐことができます。余分なフィルターを介さなくて済むため、CDの持つ瑞々しい音楽情報を余すことなく伝えることができます。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

 **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

仕様

オーディオ

チャンネル数2チャンネル
SN比96dB以上(JEITA)
ダイナミックレンジ96dB以上(JEITA)
全高調波歪率0.005%(JEITA)
ワウフラッター測定限界値以下(水晶発信精度)
チャンネルセパレーション100dB(1kHz)
アナログ出力2.4Vrms(RCA/XLR)
デジタル出力-15~-21dBm(OPTICAL)
D/Aコンバーター Swing-Suppression ノイズシェーピング 24ビット ^{デルタシグマ} ΔΣ・PWM差動方式
デジタルフィルター 8倍オーバーサンプリング・インパルス対応R-DOT方式 アナログフィルター2次ベッセルフィルター

ピックアップ

方式光学式3ビーム
対物レンズ駆動方式2次元平行駆動
光源/波長半導体レーザー/780nm

信号フォーマット

標準化周波数44.1kHz
量子化ビット数16ビット リニアチャンネル
伝送レート4.3218Mb/sec
変調方式EMF
エラー訂正方式CIRC

一般

電源100V AC 50-60Hz
消費電力18W
本体寸法(W×H×D)442×160×344(mm)
質量23kg

付属品

電源コード×1
リモコン(RC-888)×1
乾電池(単3、SUM-3)×2
ロックプレート×1
フェルト×3

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定法によるものです。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

保証書は御愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付の御愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、ご購入のの販売店または弊社サービス部門(26ページに記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

23ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入のの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費等が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CDプレーヤー X-30

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。



適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



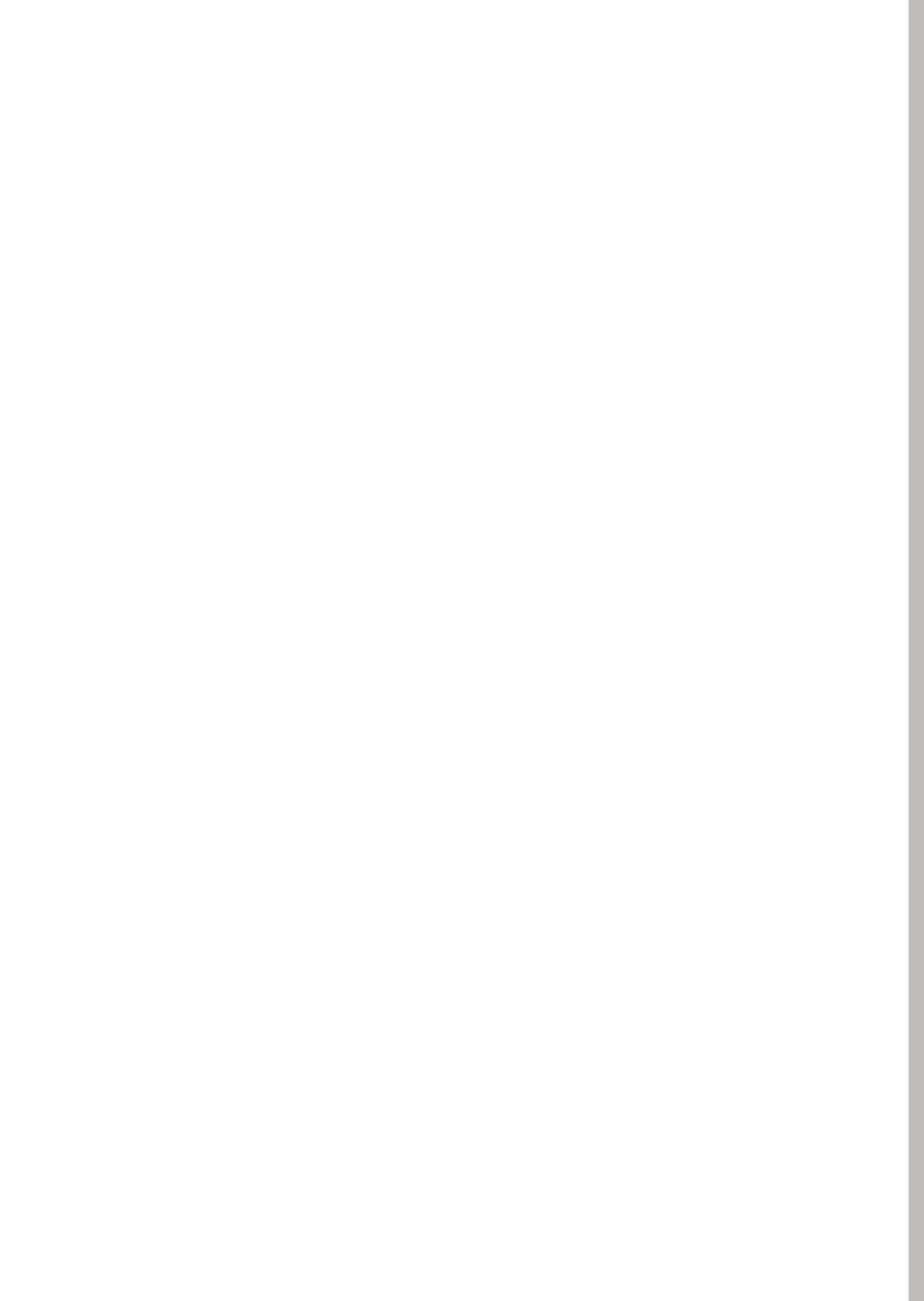
0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



ESOTERIC